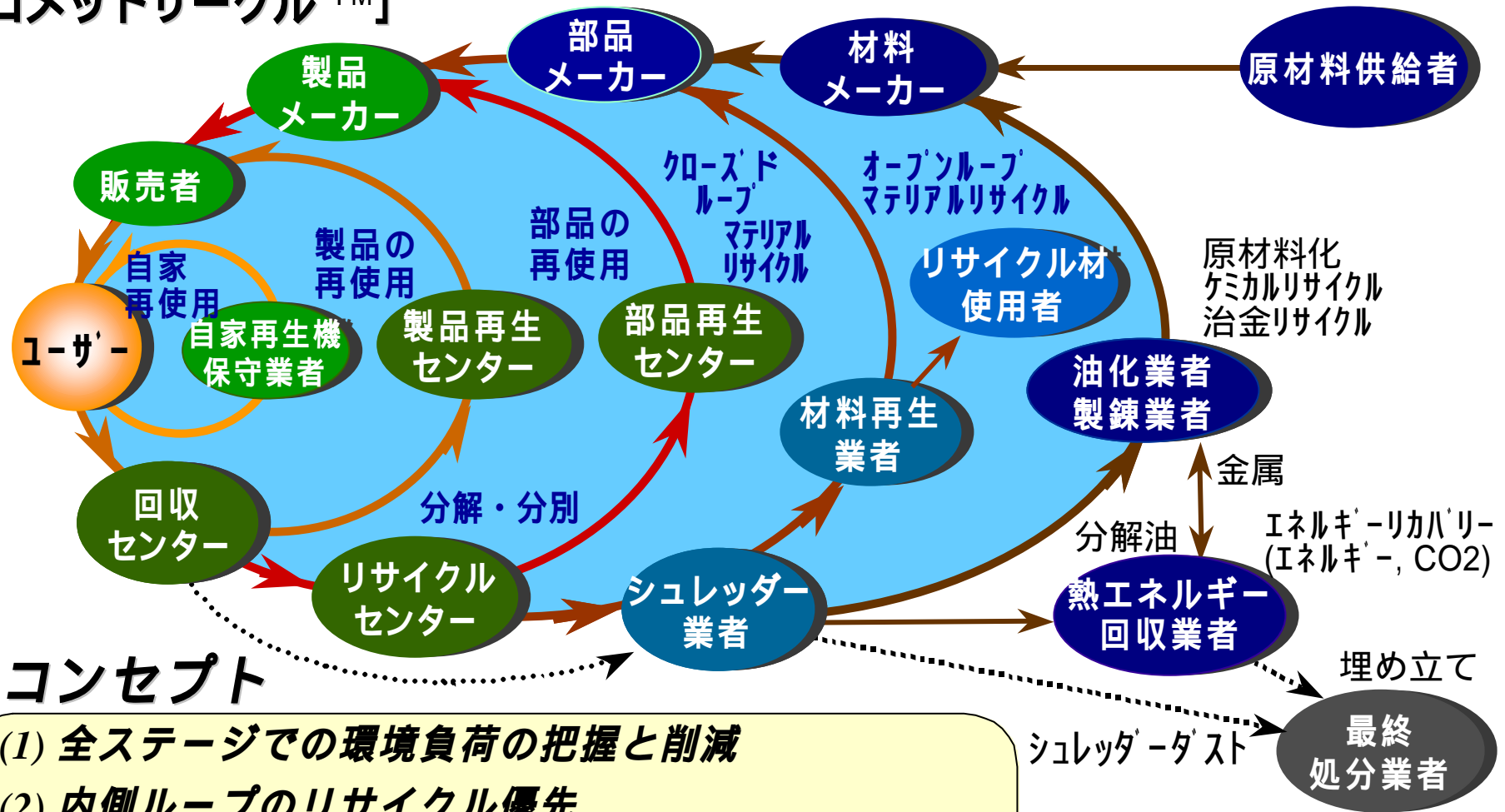

循環型社会を目指す環境経営

IBM 環境シンポジウム

平成14年10月16日
株式会社リコー
社会環境本部 本部長
谷 達雄

2. リコーグループの循環型社会実現のための概念 **RICOH** Image Communication

「コミットサークル™」



コンセプト

- (1) 全ステージでの環境負荷の把握と削減
- (2) 内側ループのリサイクル優先
- (3) 重層的リサイクル
- (4) 経済合理性の確保による自律的循環の保証
- (5) 全てのステージとのパートナーシップ・情報の共有

© 1994 RICOH Co., Ltd.

3. 環境経営の展開

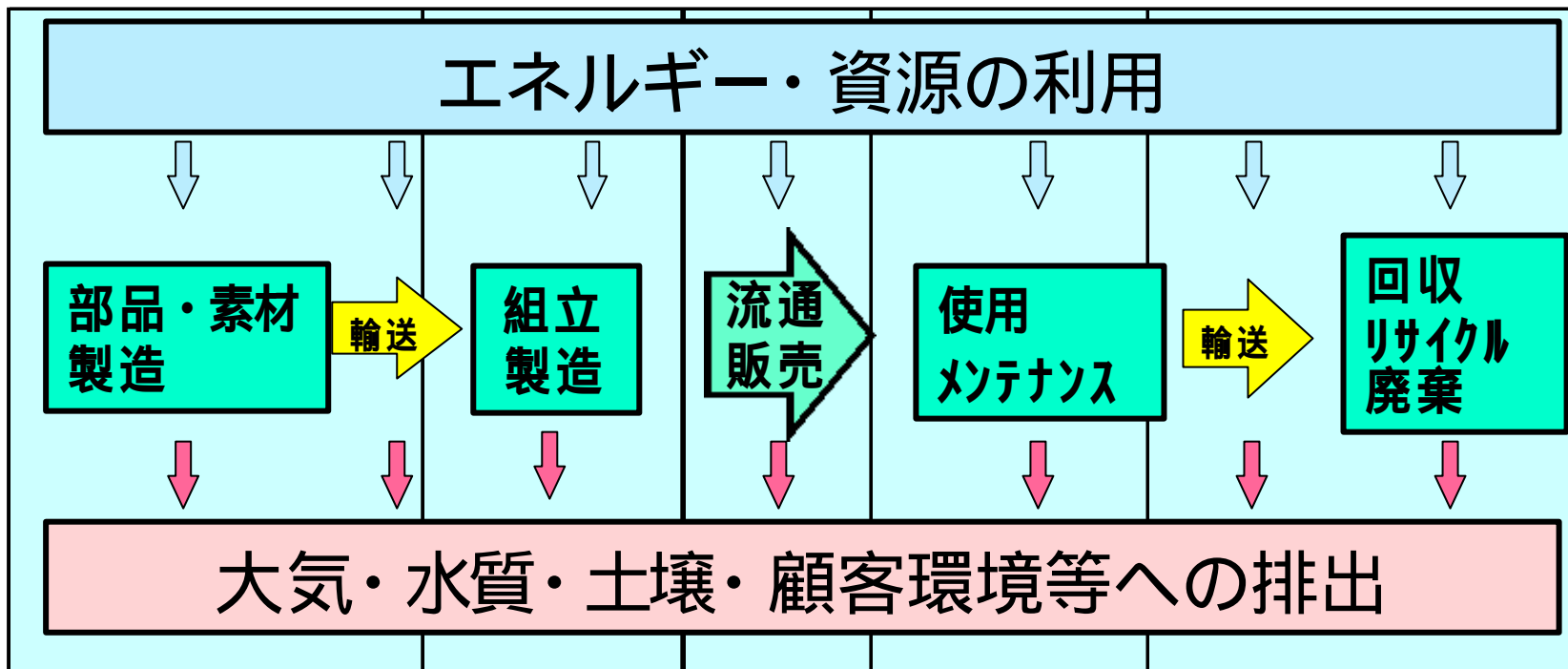
	環境対応	➡	環境保全	➡	環境経営
狙い (コンセプト)	圧力への対応 ・法規制 ・競合 ・お客様...		地球市民としての使命 ・自主責任 ・自主計画 ・自主活動		継続する為に 環境保全と利益創出の 同軸化
活動内容	法規制、競合、 お客様に追随した 消極的な活動		1 . 高い目標を掲げた 積極的な地球環境 負荷低減活動 ・省資源リサイクル ・省エネ ・汚染防止 2 . 社員一人一人の意識改革		環境保全活動 QCD達成活動 例) 部品点数削減 工程数削減 歩留り、稼働率向上
ツール			1 . ISO14000シリーズ 2 . LCA(環境負荷情報システム) 3 . 環境ボランティアリーダ- 養成システム		1 . 戦略的目標管理制度 2 . 環境会計

4. 環境経営を実現する為の二つの要素

- 1 . 全員参加の日常活動による
継続的改善
- 2 . 環境技術開発による
ジャンプアップ

5. 環境負荷情報システム

* コメットサークルの第1コンセプト対応

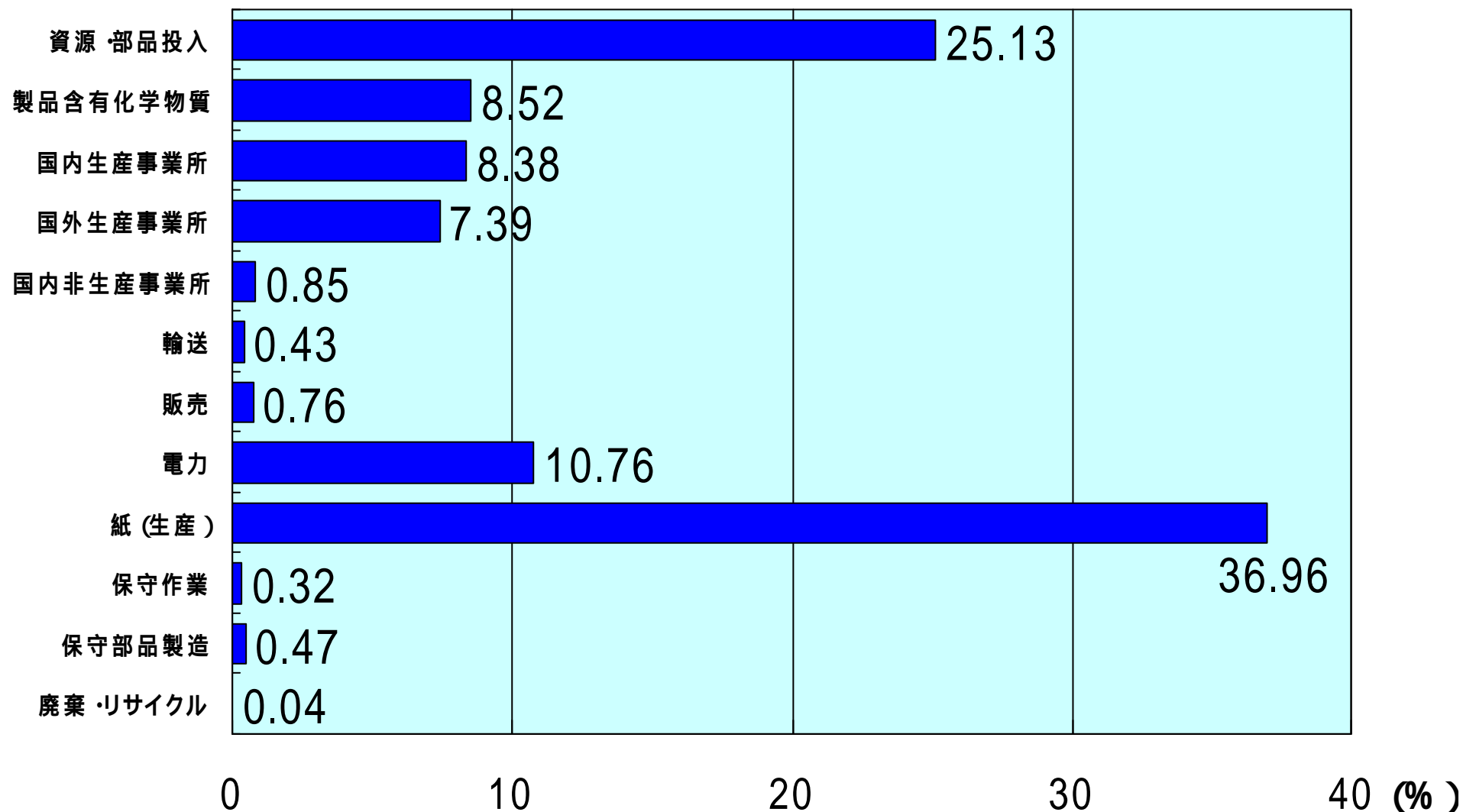


地球温暖化	CO2 代替フロンの排出	CO2 代替フロンの排出	CO2	CO2 (製品の電力 や紙使用を含む)	CO2
大気汚染	NOx、SOx トルエン等有害物の排出	NOx、SOx 有害物の排出	NOx、SOx	NOx、SOx	NOx、SOx 有害物の排出(ダイオキシン等)
水質汚濁	BOD、COD、全リン、全窒素 塩素系溶剤・洗剤等の排出	BOD、COD等			BOD、COD等 洗剤等の排出
その他		騒音、臭気、 埋立廃棄物等	埋立廃棄物	オゾン、粉じん、 騒音	有害物による土壌汚染 埋立廃棄物

実績の把握が全てのベース

環境行動計画、環境会計、外部へのデータ開示 Ver1

6. リコーの事業活動が及ぼす環境影響の把握



「環境影響を把握し、改善活動につなげる」

7. リコーの環境活動 - 製品の省エネ事例 -



主催) 財団法人省エネルギーセンター

imaggio Neo
350 SERIES



平成12年度(第11回)

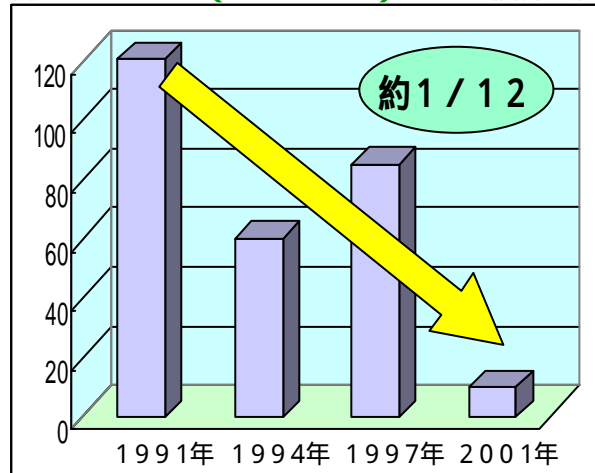
「21世紀型省エネルギー機器・システム表彰」

(省エネ大賞)

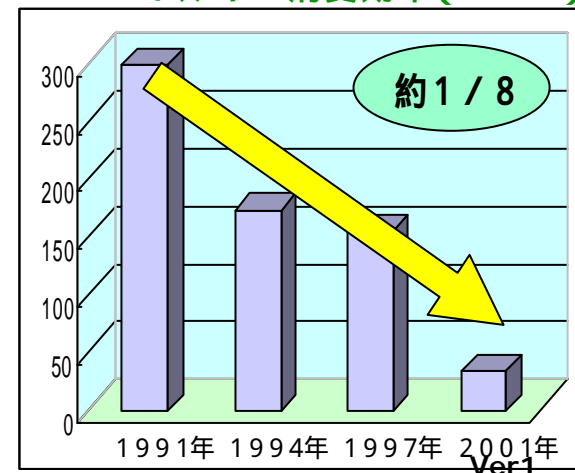
情報機器で初! 「省エネ大賞: 経済産業大臣賞」受賞

省エネモードから
10秒立ち上げ しかも待機時 **7W**
省エネと使いやすさを両立する
「リコーQSU技術」搭載。

省エネモード(オートオフ)からの復帰時間(秒)



エネルギー消費効率(wh/h)

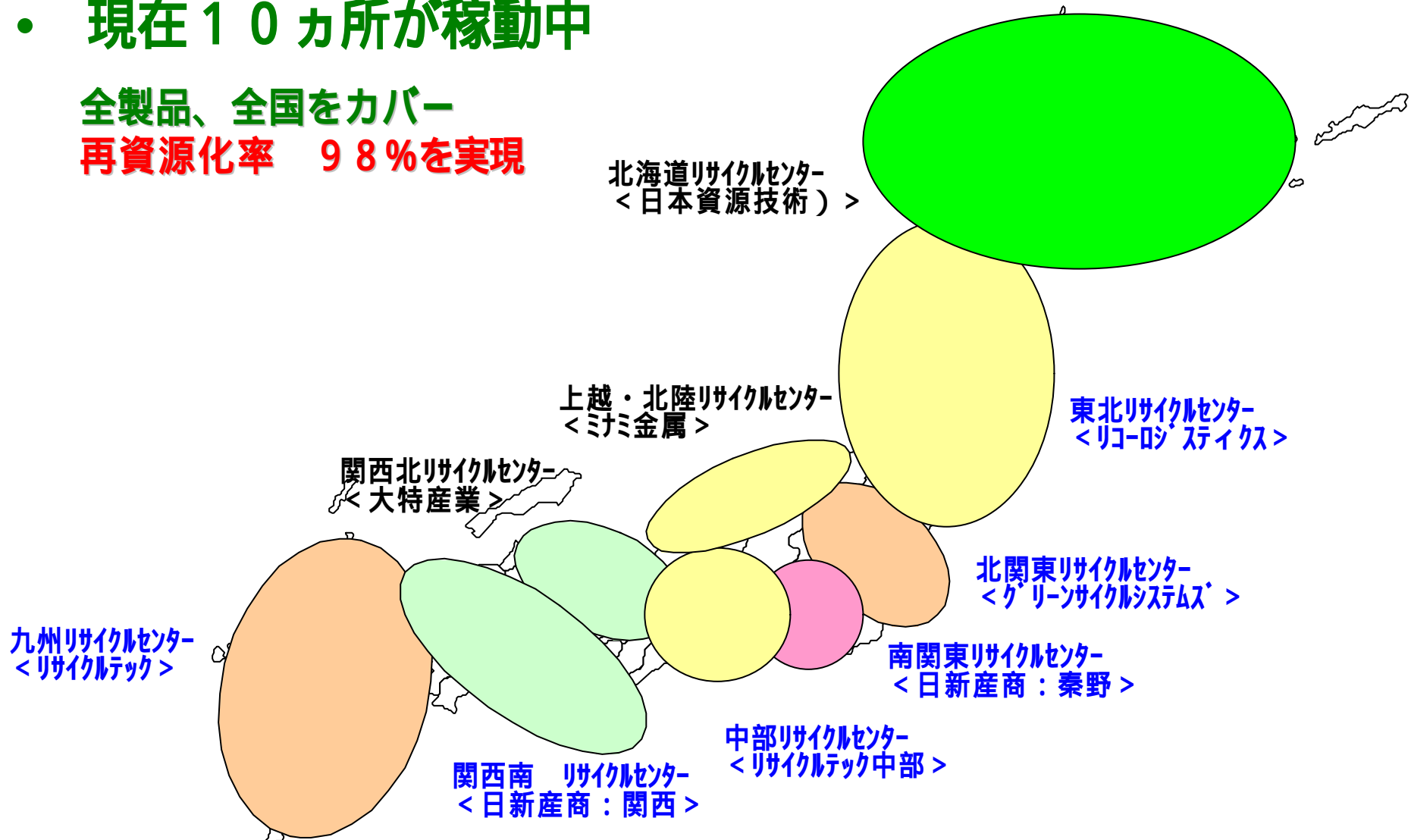


Ver1

8. リサイクルセンターの全国展開完了

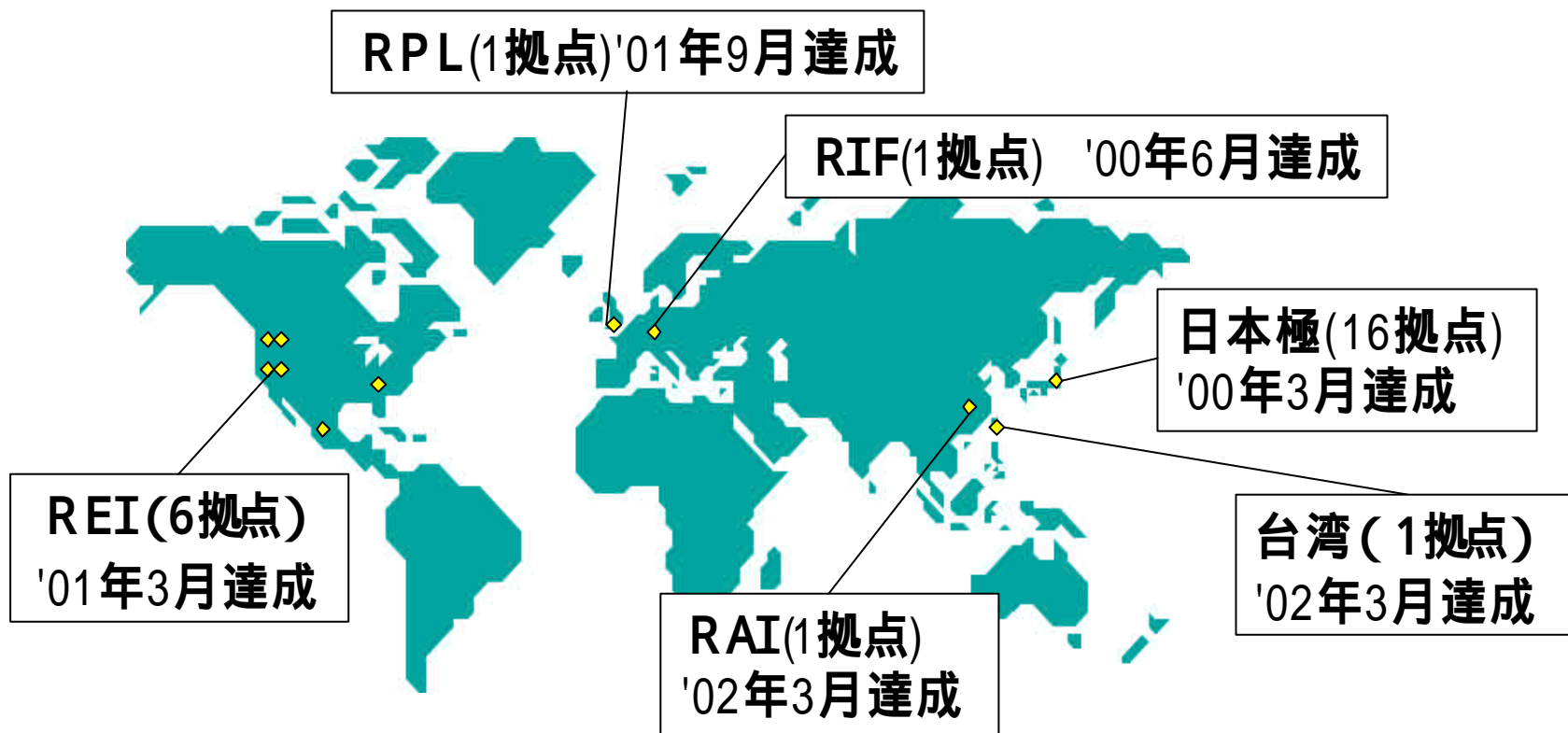
- 現在10カ所が稼動中

全製品、全国をカバー
再資源化率 98%を実現



9. 事業所のごみゼロ事例

2002年3月までに国内外全生産拠点にてごみゼロ達成



生産系事業所以外でも

青山・戸田・新横浜・銀座・品川

福井・岩手リコー販売

RTS : 千葉 (全拠点) ・ 神奈川 (全拠点) ・ 東京 (全拠点) ・ 広島 (1拠点) ・ 九州 (1支社)

が ごみゼロを達成
Ver1

10. 環境経営指標の開発

環境経営のレベルを測るため以下の目的に資する指標の開発

**環境保全活動（環境負荷削減効果）が経済的に合理的かを評価する
企業/部門の出す環境負荷が事業内容に見合ったものかを評価する**

側面	環境保全の経済効率の側面	事業の環境効率の側面	環境マネジメントの側面
解説	環境活動が経済合理性をもって行われているかがわかる	事業活動に見合う環境負荷で事業活動が行われているかがわかる	環境マネジメントのプロセスが適切かがわかる
指標	$\frac{\text{経済効果}}{\text{環境保全コスト}}$ <p>環境保全が私的な利益に貢献しているかを評価する指標 1以上であれば「環境経営」の状態</p>	$\frac{\text{売上高}}{\text{環境負荷総量}}$ <p>事業規模にみあう環境負荷で事業活動が行われているかがわかる指標</p>	<p>内部監査 サイトレポート 環境技術開発プロセス 環境ラベル グリーン購入 など</p>
	$\frac{\text{経済効果+環境保全効果}}{\text{環境保全コスト}}$ <p>環境保全が社会的及び私的に貢献しているかを評価する指標 1以上であれば「環境保全」の状態</p>	$\frac{\text{事業付加価値}}{\text{環境負荷総量}}$ <p>環境負荷にみあう利益を得ているかがわかる指標</p>	
	$\frac{\text{環境負荷削減量}}{\text{環境保全コスト}}$ <p>プロジェクトや投資が効率的に行われているかを評価する指標</p>		

11. まとめ

- 1 . 環境に優しい企業活動を行い情報公開によって社会から信頼をいただくことが、21世紀をリードする（生き残る）企業となるための必要条件である。
- 2 . 企業が環境保全活動を推進するには、トップの強いリーダーシップと哲学が必要である。
- 3 . 環境経営とは、実効のある環境保全活動を継続する為に、経済的価値の追求と環境保全活動が一体融合された経営をいう。
全員が一丸となった創意工夫によって必ず実現できるものであり、企業の強化につながる。